

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1-1	現在の経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(5月下旬から6月上旬)と比べて①良くなっているか、②悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。	良くなっている	公務員のボーナスが出た6月下旬以降、そして夏休みにはいった時点から少しは経済状況は良くなりつつある。ただ、昨年同時期、そして消費税導入前に比べると、まだまだ回復していない。特に、熊本という地方にあっては、賃金の上昇が、消費税率のアップと物価上昇に追いついておらず、可処分所得が下がり、いわゆる財布のひもが固くなっていると言える。この傾向は9月上旬にかけても変わらず、今後は弱含みで推移するとみている。このため、当社でも予定していたレストランの改修等設備投資は今後の景気の推移をみて判断するつもりだ。
1-2	今後の経済のリスク要因について、300字以内でご記入ください。	—	円安と人手不足、日照不足の3点。円安によってガソリン代、原材料、電気代が高値で推移しており、経営を圧迫している。地方は特に車社会であり、ガソリン代の高値基調は痛い。家計にも響いているのが、人手不足による賃金のアップだ。熊本市内では、建設業、福祉関係、サービス業、運輸関係で極端に人が不足している。このため、時給をあげて募集しても、応募がなかなか来ない。人はどこへ消えたかとみんな異口同音に言っている状態。仕事があっても、人がおらず倒産するケースが今後増えそう。これに日照不足が加わり、野菜が高騰しているにもかかわらず、価格転嫁は難しい状態だ。
景気回復の拡大に向けた取組			
2-1	安倍内閣の目指す、経済の好循環シナリオについて、ご意見があれば、300字以内でご記入ください。	—	確かに、経済学的には経済の好循環が景気を持続的に拡大する手法であることは誰でも理解できる。しかし、地方では、なかなかそううまくはっていないのが現状だと言える。まず、景気の回復感がイマイチ。特に中小企業が多い地方では企業収益もそれほど好転しない中で、設備投資に資金を回せる企業はそう多くない。そこに消費税率がアップし、企業収益に陰りが見え始めている。賃金のアップは企業収益が好転したからではなく、人手不足を補うために行っている企業も多く、経済の好循環には至っていない。
2-2	設備投資・企業収益、賃金・雇用、そして消費の拡大について、それぞれ進展しているとお考えになるか、「Yes」、「No」で選び、その理由及び今後の課題等を300字以内でご記入ください。 ①設備投資・企業収益の増加	No	法的整理などによる倒産件数は熊本も落ち着いているが、自主的な「休廃業・解散」は増加傾向にある。業績低迷や後継者難で、経営に見切りをつける「隠れ倒産」が熊本県内では相次いでいる。県内では08年のリーマンショック時比べ、13年は倒産が26・5%減の72件に止まったが、休廃業・解散は10・9%増の285件で、倒産の4倍に上った。特に建設業が著しい。このように、設備投資あるいは企業収益といっても、一方では人口減少を背景に、こうした「隠れ倒産」が増えている。かつては農業が後継者不足で農業を止める人が多かったが、これが他産業にまで、拡大していると言える。人口減少社会というのは、こういうことなのかと思う。

政策コメントター報告(第1回、意見照会期間:2014年8月22日~9月4日) 田川 憲生:ホテル日航熊本代表取締役会長

質問事項		選択式回答	記述式回答
2-2	②賃金上昇・雇用拡大	No	前にも書いたが、賃金上昇が企業の収益上昇に伴っているのであれば、正常な状態だ。しかし、現実には人がいないから、時給を上げざるを得ないのが中小零細企業だ。だから、雇用拡大につながらない。厚労省は「有効求人倍率が良くなったから、雇用環境は改善した」といっているが、企業にとっては、これは全くの逆。有効求人倍率が上がるということは中小零細企業には人は来ないということだ。「雇用環境」ではなく「労働環境」と言い換えた方が正確な表現ではないか。
	③個人消費の拡大	NO	熊本市の消費者物価指数は昨年7月から前年同月比でプラスに転じ、一貫して上昇トレンドにある。本年4月は、消費税率アップの影響2%を超える3.7%、5月は3.8%上昇している。一方、月例賃金は前年同月比はプラスとマイナスを繰り返し、なかなか上昇トレンドには乗れないでいる。本年4月は-1.2%減少しており、消費者物価指数とは4.9ポイントに広がっている。このように、熊本県の賃金の動きは実質可処分所得は低下している。このため、財布のひもは固くなっており、百貨店などの売り上げも前年割れとなっている。個人消費の拡大が本当に欲しいところだが、その力は弱く、経済の好循環はなかなか難しいのが現実だ。
2-3	<p>昨年、経済の好循環に向けて、政労使会議が立ち上がり、「経済の好循環実現に向けた取組」との文章がまとめられました。</p> <p>その中に記載されている4つの取組(賃金上昇、中小企業等支援、非正規雇用労働者の処遇改善、生産性向上・人材育成)について、取組が進んでいるとお考えになるか、「Yes」、「No」で選び、その理由及び今後の課題等を300字以内でご記入ください。</p>	No	4つの取り組みは進んでいるものもあれば、そうでないものもあり、一概には言えないが、今後の進展を期待して×とした。賃金だが、首都圏から地方に行くほど、大企業から中小零細企業になるほど、上がっていない。また、中小企業支援はいろいろと打ち出されているが、制度の説明が難しいし、十分な説明を受ける機会が少なくせつかくの政策だが、効果があまり出ていないのではないかと。当社としては、2年で非正規雇用を全廃すると宣言し、いま正社員化へ移行中だ。社員の満足度を高め、働く意識の向上と定着率の向上が目的だ。人材育成はまさに教育とともに成長戦略だと思う。力を入れてやっているし、もっと充実させたい。
自由テーマ			
3	<p>その他、政府の政策課題等について、ご意見があれば、300字以内でご記入ください。</p>	-	今回は特にありません。